

ユーザーニーズを的確にキャッチ、 スピーディーに対応！！

フッ素樹脂の総合メーカー・淀川ヒューテック株式会社

担当課室：次世代産業課

フッ素樹脂の技術を基盤として幅広い事業を展開し、液晶パネルの偏光フィルム貼付装置では約7割の世界シェアを誇る、淀川ヒューテック株式会社。世の中の変化や時代の流れをいち早く察知し、顧客ニーズに対してスピーディーに対応する同社の技術力をご紹介します。

■幅広い事業展開

淀川ヒューテックは、東京オリンピック開催の1964年に創業され、フッ素樹脂の技術を基盤に半導体、液晶等のエレクトロニクス産業を中心に幅広く事業展開をしているものづくりメーカーです。フッ素樹脂の成型加工からスタートした同社はフッ素樹脂の耐熱性、耐薬品性、非粘着性等の優れた特性を活かし、市場環境や顧客ニーズに合わせた様々な製品を生産しています。そして、液晶メーカーからの「液晶ガラス基盤の運搬ケースを樹脂化したい」という要望をきっかけにエレクトロニクス分野へ進出し、今や同分野をリードする企業へと成長されました。

■主力はFPD(フラットパネルディスプレイ) 製造装置等のエレクトロニクス分野

現在の主力製品は半導体製造装置に使用する樹脂材料部品や、液晶ガラスを運搬する際の液晶カセット、さらには、偏光フィルムを液晶パネルに自動で貼り付ける偏光板貼付機(写真①)です。液晶カセットは柔軟性、衝撃吸収性、耐久性に優れ、自動取りだしに対応する等、市場から高い評価を得ており、偏光板貼付機はミクロン単位(設置0.3mm以内)の高い加工精度の装着を実現する等、独自のノウハウが活かされています。いずれの製品に関しても、世界的に高いシェアを獲得しており、同社の技術力の高さを示しています。



写真①：偏光板貼付機

■注目の市場

これからの新しい市場として環境・エネルギー分野に注目し、リチウムイオン電池関連事業に取り組んでいます。淀川ヒューテックでは、従来から携帯端末向けリチウムイオン電池のガスケットを製造していましたが、電気自動車等が大きな市場になると考え、車両用へと進出しています。ガスケットとは、電池内部の電解液の漏れや異物の混入を防ぐフッ素樹脂製の封止材（写真②）で、車両用等の大きなものになると、人命にも関わるため、非常に厳しい要求に対応する必要があります。世界で同社のみの成型技術である熱加工成型により、フッ素樹脂の特性を最大限発揮させることで、その要求に応えています。

このような状況の中、同分野の事業展開において、経済産業省の「[低炭素型雇用創出産業立地推進事業費補助金](#)」、「[国内立地推進事業費補助金](#)」を活用し、事業規模拡大に向けて取組を進めているところです。



写真②: ガスケット

■”企業とは環境適応業”をモットーに

淀川ヒューテックは、独自の高い技術力と強い営業力を元に、お互いの強みを活かしながら発展していく事業提携により戦略的に事業を拡大してこられました。

「企業とは環境適応業であり、当社には変化対応力がある。」「数字にとらわれず、会社の成長は社員の成長、ひいては社会への貢献につなげていきたい。」と小川社長は語っています。

これまでに培ってきたキャリア、ノウハウを活用し、様々な顧客ニーズに応じてきた同社は、今後どのような環境の変化にも持ち前の技術力と営業力でスピーディーに対応していかれることでしょう。淀川ヒューテック株式会社の益々の活躍が期待されます。



小川社長

（執筆：次世代産業課 岡元俊道）

会社名：淀川ヒューテック株式会社

URL：<http://www.yodogawa.co.jp/>

所在地：大阪府吹田市江坂町2-4-8（本社）

電話番号：06-6386-2211